

第36回横浜マリンボールカップ男子Aゾーン決勝 7月26日(日)

川上北ブルーデビルス 52 VS 41 御殿場南小ミニバスケットボールクラブ

1Q

川上北は、#4が1対1を仕掛け、スピードあるドライブで流れを作り点数を取っていった。一方、御殿場南は、#4の巧みなドリブルワークで見事川上北のDEFをくぐり抜け点数を重ねていった。両者ともボールに対する執着心が強く攻め気のしつこいDEFをし、取ったら取り返すのシーソーゲームで1Q目がスタートした。

御殿場南のDEFローテーションが決まりだし、川上北のミスが続くが、#4が落ち着いてゲームをコントロールし持ち直した。

川上北14点。御殿場南12点。川上北が1Q目は制した。

2Q

御殿場南は、1対1中心から、パスワークを速くし、ノーマークを作り出していった。川上北は、その速さについて行けず、立て続けに点を許してしまい逆転された。また、御殿場南のカバーDEFが崩せず、ミスを連発してしまった。その間、御殿場南は、パス回しだけではなく、果敢に1対1も仕掛けだし、ゴールに攻めていった。川上北は、足元へのよりをさらに厳しくし、30秒バイオレーションを取るなど、御殿場南のミスを誘っていった。そして、そのミスを点数へと繋げていった。1Qと同様に取ったら取り返すのシーソーゲームが始まった。残り7秒。川上北#5が、シュートブロックからマイボールにし、そのままゴールにねじ伏せて2Q目終了。最後のシュートで川上北が逆転し、22対20となった。

3Q

川上北は、3Q目になっても足元まで寄る厳しいDEFをやめず御殿場南のミスを誘っていった。御殿場南は、ドリブルを上手く使い川上北のDEFをくぐり抜けて行くが、シュートが決まらず、厳しい状況となった。その間、川上北は、ボールへの執着を強め、ルーズボール、リバウンドを諦めることなく追いかけてマイボールにしていった。

御殿場南は、ドリブルを減らし、Cへのフラッシュや縦パスを上手く使い川上北の厳しいDEFを突破していった。パスランの良い流れが作り出され、#4のシュートがキレイに決まりリズムがつかめてきた。しかし、川上北#5がカウントを決め流れを変えさせた。

川上北は、#8のレイアップ、#4のパスカットから#9が落ち着いてシュートを決めるなどをして点数を伸ばしていった。

御殿場南も負けずとゴールを目指す、得点に結びつかなかった。3Q残り1分。リズムよくパスが回り御殿場南#7のジャンプシュートが決まり流れが御殿場南に傾いた。ノータイム。御殿場南#4が力強いミートからドライブ。シュートファールをもらい、ツーショットを落ち着いてゴールに沈め3Q目終了。40対29と川上北は御殿場南を突き放した。

4Q

御殿場南は、声を出し気合を入れなおした。川上北からのスローインで 4Q 目がスタート。開始直後、川上北の、パスミスが起こりルーズボールとなった。そのボールに両者勢いよく飛び込んだ。絶対追いつきたい御殿場南とこのまま勝ち切りたい川上北、両者の熱い気持ちがぶつかり合った瞬間だった。

川上北は、焦ることなく DEF の状態をみて判断し、確実にノーマークを作り出し得点を重ねていった。一方、御殿場南は、ドリブルスクリーンやパスランを使い、速い展開で得点を重ね、得点差を縮めていった。御殿場南は、DEF をマンツーマンプレスに変え、川上北のミスを誘っていった。御殿場南は、そのミスを確実にマイボールへと繋げていった。また、ドライブにも積極的に向かいシュートファールをもらうが、フリースローが入らずなかなか追いつくことができなかった。残り 1 分。御殿場南#4 がドライブを仕掛け、上手く合わせていた#9 にパスが通った。このシュートが決まり、5 点差となった。

川上北は、御殿場南の厳しい DEF にも負けず、立て続けにシュートファールをもらうが 1 本しか入らなかったが、リバウンドから川上北#5 のジャンプシュートが決まり、8 点差となった。御殿場南は、更に早く攻めることを意識し、シュートを狙っていくが入らなかった。

4Q 目終了間近。#4 が DEF の動きをよく見ながら華麗にかわしシュートを決め試合が終了した。52 対 41 で川上北ブルーデビルズが勝利した。

協力／横浜市南部ミニバスケットボール連盟技術委員会

